

令和4年度「蔵前小学校 授業改善推進プラン」

調査概要 【全国学力・学習状況調査】  
 調査対象 台東区蔵前小学校 第6学年  
 実施日 令和4年4月19日  
 実施教科 第6学年 算数

第6学年 算数

1 結果の分析

(1)結果の概要

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	都	全国
評価の観点	知識・技能	74.8	72.4	68.2
	思考・判断・表現	61.1	60.5	56.7
	主体的に学習に取り組む態度			

○全体的な状況の説明

◇評価の観点から

2観点とも全国の平均正答率を上回っている。特に知識・技能が定着している。

◇正答率度数分布グラフから

最も分布が多い階級は16問中14問正答した15.3%だった。その他は、5問～16問正答の範囲で広く分散して分布している。

(2)結果から明らかになった課題

算数	個別の状況(課題)	解決すべき課題
	<p>○知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・百分率で表された割合と基準量から、比較量を求める問いで東京都の正答率を6.1%下回った。</li> </ul> <p>○思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図形」領域の、正三角形をかく手順について正しくかきなおす記述問題では東京都の正答率を3.6%下回った。また、示された手順でかいた図形が何かを選ぶ問題で東京都の正答率を1.9%下回った。</li> </ul>	<p>→百分率で表された割合を、小数で表された割合に直す必要があることを理解する。また、比較量を、基準量×割合の計算で求める技能を身に付ける。</p> <p>→図形の性質を理解し、それを活用して作図の手順を説明したり、示された手順でかける図形が何かを判断したりする力を身に付ける。</p>

2 改善策

(1)具体的な改善策

算数	<p>○知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割合の表し方には、百分率や比など様々なものがあり、その換算の仕方を理解するよう反復学習を行う。問題解決の手立てとして、問題文に書かれている情報を数直線にかき表すことで演算決定できるようにする。</li> </ul>
	<p>○思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の辺の長さや角の大きさに注目して性質をまとめ、それを活用して作図ができるように手順の確認を行う。また、児童らの言葉で、作図の手順を説明する学習活動を取り入れる。</li> </ul>

(2)改善策(手だて)に対する検証

- 単元の終わりに単元テストや東京ベーシックドリル診断を実施し、学習の定着を評価する。また、学習用タブレットのドリル正答率を確認し、児童の学習の定着を診断する。
- 学期末に復習の機会を設け、定着の不十分なところを反復学習で身に付けていく。